

選本で買った本はなんと240冊!

一学期の最終日、市内の宮脇書店さんで本を選びました。参加した生徒は8名。みんな楽しそうに、かつ真剣に本を選んでくれました。選んだ本は図書館入口に展示しています。



『女性のための将棋の教科書』
上田初美、滋慶出版/土屋書店

駒の種類やルール、戦法までを女性の目線で分かりやすく解説。これを読んで女性棋士を目指そう!



『江戸川乱歩傑作集 I 孤島の鬼』
江戸川乱歩、リブレ出版

「1年間鈴木として暮らせ」と命令され、借金を負った者たちが集まる。謎の命令の目的とは…。



『鈴木ごっこ』
木下半太、幻冬舎



『流』
東山彰良、講談社

戦後20年、台北で祖父が殺された。17歳の主人公が謎を追う話題の直木賞作品。



『国を救った数学少女』
ヨナス・ヨナソン、西村書店

南アフリカで働いていた18歳の少女が、スウェーデンの国王と首相を救う、ハイチャメチャコメディ。



『エイジハラスメント』
内館牧子、幻冬舎

仕事先で馬鹿にされ、夫に浮気された34歳主婦。プライドを守るため、美容外科手術を決意する。

今回の担当
3-1 小野くん、楠山さん



図書委員さんに好きな本を教えてくださいました

私の好きな本



小学生がゲームの世界に入り込む!?

授業中、保健室に向かったはずの主人公・学とあかりは見知らぬ世界に迷い込んでしまう。そこは学が遊んでいるRPG「光の石の伝説」の世界にそっくりだった。学校は不気味な迷路に変わり、敵のモンスター「イガー」が攻撃を仕掛けてくる。

キーワードは「光の石」

「光の石の伝説」は、闇の王が支配する世界だった。イガーは簡単に殺される者、犬の顔をした闇の王の兵士は敵、学たちの隣のクラスの勇太が主人公、というように役割が決められている。学、あかり、勇太はこのゲームを終わらせるため、闇の王が持っている「光の石」を手に入れようとするが……。

殺伐としたゲームの中で、主人公は…

ゲームの世界ではどんな危険な冒険をしても現実のことではないし、冒険が嫌なら終わることもできる。学とあかりは「挑戦する」を選ばなかったのに、命がけのゲームをせざるを得なくなった。ゲームの世界では命は軽いものであり、殺すことも殺されることも簡単だった。ゲームの世界で死んでも記憶が失われる、つまりリセットされるだけで、現実で死ぬことはないのだ。学とあかりは、ゲームが進むにつれて（自分の役割とは、正義とは…など）様々なことに気付く。そして2人が起こした行動とは……。

作家プロフィール **岡田淳** (1947~)
小学校で図工教師を務める傍ら、『ムンジャクンジュは毛虫じゃない』で作家デビュー。これまで数々の児童文学賞を受賞しており、『二分間の冒険』は刊行後30年たった現在も人気のロングセラー。



開智祭 古本市
今年も開催決定!

開智祭文化部門の2日目に、図書館で購入している雑誌のバックナンバを今年も無料で配布します!
今年1人3冊まで。雑誌だけでなく、付録のシヤンプーやポスタ、メモ帳などもあります。場所は高校棟3階の選択教室2です。

